

【重点施策の一覧】

追加資料(資料5差し替え)

分野	施策の柱	施策	施策の内容	重点テーマ			No.	個別施策	重点テーマとの関係	目標					指標となる数値、単位	担当課	
				重点1 「環境市民」が活躍する地域づくり	重点2 自然環境が有する機能・魅力の活用	重点3 低炭素社会・循環型社会の形成による持続可能な社会				29年度	30年度	31年度	32年度	33年度			
1 安全な生活環境を確保します(生活環境分野)	1-1 大気環境・水環境を保全します	1 大気環境の保全対策の促進	② 大気汚染状況の監視測定の実施			○	2	大気汚染状況の監視測定等の実施	【重点3】 光化学スモッグの発生は、窒素酸化物などの汚染物質濃度のほか、気温や紫外線(日射)などの気象条件と密接な関係があります。気象の観測や大気汚染の常時監視を行い、情報発信することにより、健康被害を防止します。	76%	76%	80%	80%	80%	大気汚染に係る環境基準達成率	環境保全課	
2 自然環境を保全・再生します(自然環境分野)	2-1 生物多様性の保全します	1 生物多様性の保全対策の推進	③ 野生生物への理解の促進			○	21	自然についての展示、講座、観察会等の実施	【重点2】 自然に関する講座や体験学習、自然観察などの行事を開催することで、市民の野生生物への理解を高め、人と自然との共生の推進を図ります。	225人	230人	235人	240人	245人	参加人数	環境政策課 みどり公園・水辺課 博物館	
	2-2 里山を保全・再生します	1 里山の保全・再生とふれあいの推進	② 市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進			○	26	市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	【重点1】 市民参加による里山保全活動を行うことで、環境市民による保全活動の促進につなげます。 【重点2】 古くから人が生活に利用してきた雑木林や、人が開いた農地が一体となった場所が里山です。里山を保全していくことで、自然と共生し自然の恵みを活かしていきます。	10回 390人	10回 390人	10回 400人	10回 410人	10回 420人	里山保全活動の活動回数・参加人数	環境政策課	
	2-4 農地を保全・活用します	1 農業の活性化、農業とのふれあいの推進	① 農業活性化の推進			○	41	援農ボランティアの促進	【重点1】 農家の「高齢化、後継者不足による農作業の補助」の必要性と、ボランティアの「農業とのふれあいによる充実感を得たい」という声をマッチングし、援農ボランティアの力を農業活性化にいかします。 【重点2】 高齢化、後継者不足によって耕作の維持が難しくなる農地を活かし、保全していきます。	10件	15件	20件	25件	30件	援農ボランティアのマッチング実績数	農水産課	
			② 農業とのふれあいの促進(都市農業理解の促進)			○	45	市民農園の利用促進	【重点1】 自然志向を背景に、農業体験に対する都市住民の関心が高まり、余暇活動としてだけでなく、子供の教育面からも、自然や土とふれあいを求め、市民農園を利用する人々が増えています。このようなことから、市民農園の利用を促進していきます。 【重点2】 市民農園として自然の恵みを活用します。	95%	95%	95%	95%	95%	市民農園の利用率	農水産課	
3 快適な都市環境を保全・創造します(都市環境分野)	3-1 うらおいとやすらぎのあるまちをつくります	1 みどりのネットワークの形成	② みどりのつながりの確保			○	55	花とみどりのまちづくりの推進	【重点1】 公園、広場、公民館へ花苗を配布し、環境市民による花と緑のまちづくりを促進します。 【重点2】 みどりのネットワークの形成を進めることで、花と緑に親しめるまちづくりを進めます。	40箇所	40箇所	40箇所	40箇所	40箇所	花苗の配布箇所数	みどり公園・水辺課	
			③ 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進	① 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進			○	66	花の名所づくり	【重点1】 花の名所づくりに市民参加により取り組みます。 【重点2】 花の名所の魅力を活かすとともに、市民が自然に親しめる場をつくります。	11箇所	11箇所	12箇所	12箇所	12箇所	花の名所箇所数	みどり公園・水辺課
	3-2 環境共生型のまちをつくります	1 環境共生モデル都市の形成	① ツインジニアの形成に向けた取組の推進			○	70	土地区画整理組合による土地区画整理事業ならびに地域住民と連携したまちづくりの推進	【重点3】 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)など、省エネ性能の高い住宅や再生可能エネルギーの導入誘導により、環境共生のモデルとなる低炭素のまちづくりを促進します。	-	-	40%	50%	60%	土地区画整理事業の進捗率	都市整備課	
4 地球環境保全へ貢献します(地球環境分野)	4-1 低炭素社会の実現に向けて取り組みます	2 暮らしや事業活動に配慮した環境への配慮の促進	① 環境に配慮した暮らしの普及			○	88	日常生活における環境への配慮の取組の促進	【重点1】 コソコソプラン等、日常生活における環境配慮に関する情報の提供や、取組の呼びかけを行い、環境市民による環境配慮活動の意識を高めます。 【重点3】 日常生活において温暖化の原因である温室効果ガスを削減する環境配慮行動を促進することは、低炭素社会の実現につながります。	40%	41%	42%	43%	44%	コソコソプランの小中学生家庭の参加世帯の割合	環境政策課	
							○	96	クールシェアスポットの紹介	【重点3】 クールシェアスポットをホームページ等で紹介し、夏季の各家庭での電気使用削減を推進します。また、クールシェアスポットは猛暑の際の「シェルター」となり、熱中症対策として、市民の安心安全の向上につながります。	7施設	8施設	9施設	10施設	11施設	紹介している施設数	環境政策課
							○	105	家庭系ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発	【重点3】 ごみの減量化、資源化を進め、ごみの焼却量を減らすことで、温室効果ガスの排出を削減するとともに、限りある資源の消費を抑制し、地球にやさしい社会の実現に寄与します。	903g	899g	894g	889g	889g	市民一人当たりのごみ排出量	循環型社会推進課
	4-2 循環型社会の実現に向けて取り組みます	1 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	① 廃棄物の発生抑制・資源化の推進			○	106	事業系ごみの排出ルール徹底や事業者に対する指導		26.5%	26.5%	26.5%	26.6%	26.7%	ごみの資源化率	循環型社会推進課	
5 市民・事業者等による環境保全活動を促進します(環境保全活動等)	5-1 環境教育・環境学習を推進します	1 幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	① 幼稚園・保育園・小中学校での環境学習の推進			○	114	わかば環境ISOの推進	【重点1】 わかば環境ISOに学校、園ぐるみで取り組むことが、環境配慮行動を実践できる「環境市民」の育成につながります。 【重点3】 わかば環境ISOは、取組の共通メニューとして「省資源」「省エネ」「ごみの減量化」に取り組んでおり、温室効果ガスの排出削減や資源の再利用などに寄与します。	54校・園	54校・園	55校・園	55校・園	55校・園	参加校・園数	教育総務課 教育指導課 環境政策課	
			② 幅広い年齢層を対象にした環境学習の充実			○	123	市民活動団体等と連携した出前講座等の実施	【重点1】 出前講座を市民活動団体等と連携して行うことで、団体の活動の場を広げることになるとともに、市民の環境に対する理解の向上や、今後の市民活動等を担う人材育成につなげます。 【重点2、3】 自然環境や地球環境保全に関する講座を提供することで、市民の環境に対する理解を深め、市民一人一人の環境配慮行動につなげます。	10回	11回	12回	13回	14回	講座開催回数	環境政策課	
	5-2 市民等や企業との取組や連携を支援します	1 市民活動や企業との取組に対する支援	③ 環境保全団体のネットワークづくりの促進			○	131	ひらつか環境ファンクラブの活動の促進	【重点1】 市民活動団体等の活動促進により、市民による環境配慮活動の活性化を図るとともに、団体等の活動発表の場を作ることで、広く市民への周知を行います。 【重点2、3】 自然環境や地球環境保全に関する保全活動等を行っている市民活動団体の活動促進は、自然環境の活用や低炭素社会、循環型社会の実現といった重点テーマの推進につながります。	団体会員 27団体	団体会員 28団体	団体会員 28団体	団体会員 29団体	団体会員 29団体	ひらつか環境ファンクラブ 団体会員数	環境政策課	

2 自然環境を保全・再生します

2-1 生物多様性を保全します

施策1 生物多様性の保全対策の推進

施策の内容	No.	個別施策	今後5年間の事業計画 (29年度～33年度)	担当課	重点テーマ			温暖化 対策
					1	2	3	
① 野生生物の情報収集、生物多様性の保全策の検討	17	生物多様性の保全に向けた仕組みづくりの検討	生物多様性の保全に向けた方策の検討等を継続的にを行います。	環境政策課				
	18	野生生物の情報収集・発信	市内各所の植物に関する情報を収集し、標本とデータを整理します。	博物館				
② 生物空間の保全対策の推進	19	みどり与水辺のネットワークの形成	公共スペースへの植栽等の整備を推進し、みどり与水辺のネットワークを形成することによって、生物の生育・生息空間の連続性を確保します。	みどり公園・水辺課				
	20	生物空間の維持管理と利用	市民参加によるエコアップ活動を協働で実施します。	みどり公園・水辺課				
③ 野生生物への理解の促進	21	自然についての展示、講座、観察会等の実施	子ども環境教室(金目川生き物観察会)や、相模川での自然観察活動を通じて、水辺の生き物とふれあう機会を創出します。また、博物館において、自然に関する講座や体験学習、自然観察などの行事を開催します。	環境政策課 ／みどり公園・水辺課 ／博物館		○		
④ 有害鳥獣対策の推進	22	鳥獣による生活被害防除の推進	鳥獣による生活被害防除のため、ハウビシン等の捕獲を実施します。	環境政策課				
⑤ 特定外来生物の防除	23	特定外来生物の防除	アライグマの捕獲を実施するとともに、特定外来生物に関する情報提供をします。	環境政策課				
⑥ 生物多様性の保全に取り組む市民活動団体等の活動促進	24	市民活動団体等の活動促進	生物多様性の保全に取り組む市民活動団体や企業等と協働し、保全活動策の推進を図ります。	環境政策課 ／みどり公園・水辺課				

2-2 里山を保全・再生します

施策1 里山の保全・再生とふれあいの推進

施策の内容	No.	個別施策	今後5年間の事業計画 (29年度～33年度)	担当課	重点テーマ			温暖化 対策
					1	2	3	
① 西部丘陵地域資源まちづくり支援	25	西部丘陵地域資源まちづくり支援事業	地域住民や学術機関などの連携を深めながら、自然資源や地域資源を活かした交流やレクリエーションの場づくりを推進します。	まちづくり政策課				※
② 市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	26	市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	里山保全に関する研修等を実施します。また、ウェブサイト等で情報発信を行います。	環境政策課	○	○		※
③ 里山の自然とのふれあいの促進	27	里山体験教室等の開催	里山保全モデル事業、市民・大学交流事業、夏休み子ども環境教室を開催します。	環境政策課				※